

民報あばしり

NO.857
2012.3.4
発行所
日本共産党
網走市委員会
網走市北八西三
四三二一四四五八
F 四三二一四四五七

第TPP参加断固阻止をオールオホーツクで!

北2月26日(日)午後1時30分より網走市民会館でオホーツク管内14農協の組合長でつくるオホーツク農協組合長会議(会長佐藤正昭清水農協組合長)が主催し、管内の市町村長と議長でつくるオホーツク圏活性化期成会、オホーツク商工会議市よ協議会、管内消費者協会連合会など12団体が共催。オホーツク総合振興局が後援した「TPP交渉参加断固阻止!オホーツク総決起集会」を開催し、管内各地域から1100人が集まりました。



4千億円の影響があると試算されている。先陣が気づいた地域を崩壊させてならぬ」とあいさつしました。

期成会会長の水谷市長は「関税撤廃を原則とするTPPがおおると地域に重大な影響を与え、情報提供の不十分だ。参加阻止に向けて自治体も連携していく」と、網走管内消費者連合会の大谷啓子会長は「世界的な食糧不足が懸念される中、自国の食料自給率を高め、そのときに備えよう。そのために農業を守っていかう」と決意を表明した。

最後に、「国のかたちを変え、地域経済・社会の崩壊をまねき、食糧自給率の低下と食の安全・安心を揺るがすTPP交渉への断固阻止する」特別決議案を満場一致で採択しました。

集会前に共産党が宣伝行動

開会に先立ち、北見市から菅原誠常任委員など5人、網走市から松浦。飯田両市議を先頭に6人と合わせて11人がバスや自家用車などで会場に駆けつけた参加者に「ご苦勞様です。共産党です」「一緒に頑張りましょう」など声をかけながら、2月18日行われたTPPシンポを掲載した「北見民報」と赤旗号外を配布。用意したビラはすべて受け取ってもらえました。

いよいよ東奔西走

民主党の公約破りはこれ極まりといった感じになりました。障害者の生存権をおびやかす悪法として廃止を求められた「障害者自立支援法」は一部改正で生き残る：

障害者・家族や支援団体の方はまさかと絶句したそうです。自公政権が導入した障害者が生きていくために不可欠な支援を益とみなして、障害者に応益負担を強いる自立支援法。障害者が立ち上がり全国14の地裁に「生存権の侵害で憲法違反」と違憲訴訟をおこし、幅広い国民的たたかひのすえ、09年の総選挙で「自立支援法廃止」を公約した民主党政権と原告・弁護士団とが、自立支援法が「障害者の人間としての尊厳を深く傷つけた」ことを「心から反省」と明記した「基本合意書」を結び、自立支援法廃止、新法の実施を約束しました。

あれから2年、心待ちした障害者は裏切られました。国と障害者と文書で交わした約束を反故にするのは、裁判の和解事項を当事者の国が否定するという司法の在り方から見ても異常な事態です。

いままさく基本合意にもどり、それに沿った「障害者新法」を実現すべきです。本当にいかりを覚えました。

松浦奮戦メモ

橋下徹大阪市長が全市職員アンケートの名で強行している「思想調査」に対して大阪はもとより全国で怒りが広がっています。今回のアンケートは、憲法19条の思想・良心の自由、21条の政治活動の自由を乱暴に踏みこむもの、第28条と労働組合法に反した不当労働行為です。

大阪府労働委員会が大阪市に対して、調査委託した野村修也弁護士らの「凍結」措置にとどまらず、市の責任において調査の続行を差し控えるよう事実上の中止勧告を出しました。このような主張をする橋下氏に対して、なぜマスコミは持ち上げるのか、憤りを感じます。

市長は特別公務員ですから憲法99条「公務員は、この憲法を尊重し擁護する義務を負う」に違反します。ましてや橋下氏は弁護士資格を持った方ですから、呆れるばかりです。

憲法違反を平然と発言し実行する橋下氏を批判しないのは、マスコミの役割を果たしていないといわざるを得ない。先日、地域の市民から危険なことだ、こういう時は共産党の出番だと言われました。

流水

「弁護士になるためには憲法の学習をしなくてもいいのですか」とまじめに質問した人がいたそうです。「職員基本条例」「教育基本条例」など憲法違反農耕の条例を乱発し、市長命令で思想信条までアンケートを強制する弁護士出身の大阪市長をみて、そう思ったのだそうです▼

原子力発電所を再稼働しないのなら日本国内では電力不足が心配なる。だから外国に工場を作ると大企業が動き始めました。しかし、びっくり!外国に作る工場はソーラー発電設置で電力のかなりの部分を自分たちでまかなうというのです。じゃ、国内の工場に自家発電装置をつければいいじゃないか!野田首相の原発事故「収束」発表とい、保安院の原発再稼働のためのストレステスト問題なしとい、どこがおかしい。なにがなんでも原発を動かそうというわけだ▼五千六百万年前に生息していたもつとも原始的な馬は体重が焼く五・六kgほどだったそうです。ところが平均気温が上昇するにつれ三割程減り、その後、気温が下がり始めると八割も体重が増えたことが発表されました。もちろん何万年もかけてもことですが、このまま地球温暖化が進めば生物の変化が起きるでしょう。メタボの悩みが解消なんて呑気なことは言っちゃりません▼最近、まじめに考えられていることをほんとはと考えると「おかしい」ことが多すぎます。大阪都構想は大企業優先の巨大乱開発が懸念されるし、大企業の横暴勝手は無制限だし、二酸化炭素を減らすためには発電というのまやかしたかったし...